



## 2022年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社 ユニカフェ

上場取引所 東

コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝谷 博司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 新述 孝祐

TEL 03-5400-5444

定時株主総会開催予定日 2023年3月24日

配当支払開始予定日

2023年3月27日

有価証券報告書提出予定日 2023年3月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期の連結業績(2022年1月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	10,713	29.6	66		84		190	
2021年12月期	15,218	4.2	13		23		294	

(注) 包括利益 2022年12月期 181百万円 ( %) 2021年12月期 293百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2022年12月期	14.27		3.2	0.6	0.6
2021年12月期	22.05		4.9	0.2	0.1

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2022年12月期	13,914	5,817	41.8	435.28
2021年12月期	14,704	6,098	41.5	456.58

(参考) 自己資本 2022年12月期 5,817百万円 2021年12月期 6,098百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年12月期	437	543	835	3,856
2021年12月期	466	595	491	4,798

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2021年12月期		0.00		8.00	8.00	106		1.8
2022年12月期		0.00						
2023年12月期(予想)								

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

業績予想につきましては、現時点において適当かつ合理的な算定が困難であるため、2023年12月期の業績予想を未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期	13,869,200 株	2021年12月期	13,869,200 株
期末自己株式数	2022年12月期	503,240 株	2021年12月期	512,120 株
期中平均株式数	2022年12月期	13,363,228 株	2021年12月期	13,353,778 株

(参考)個別業績の概要

2022年12月期の個別業績(2022年1月1日～2022年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	7,636	23.5	164		82		164	
2021年12月期	9,986	16.0	37	581.9	96	143.6	178	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期	12.30	
2021年12月期	13.38	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期	12,732	5,705	44.8	426.86
2021年12月期	13,059	5,968	45.7	446.84

(参考) 自己資本 2022年12月期 5,705百万円 2021年12月期 5,968百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組やワクチン接種が進んだことにより、活動制限も徐々に緩和し一部持ち直しの動きがあるものの、急激な円安進行や原材料価格の上昇およびエネルギー価格の高騰による物価上昇等、不透明な状況で推移いたしました。

コーヒー業界においても、コーヒー相場の上昇および円安進行による原材料価格の上昇、また、LNGを含むエネルギー価格の上昇によりコスト増加を余儀なくされた状況となりました。

このような状況の中で、当社グループの当連結会計年度につきまして、工業用コーヒーにおいては、主要取引先の一部において取引が減少したことにより、売上高、取扱数量ともに昨年を下回りました。

業務用コーヒーにつきましては、取引先が外食店中心であることから、コロナの影響を最も受ける業態であるものの、活動制限の緩和による需要の回復が見られたことと、新しい生活様式に基づく消費者需要の変化への適応による伸長等により、売上高、取扱数量ともに昨を上回ることとなりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は10,713百万円（前年同期比29.6%減）となりました。また、利益面では営業損失は66百万円、経常損失は84百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は190百万円となりました。

なお、冒頭に触れた、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、当連結会計年度の売上高は5,414百万円減少し、営業利益は1百万円増加しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ① 資産の部

流動資産は、前連結会計年度より564百万円減少し、8,267百万円となりました。主な要因は、売掛金が411百万円増加しましたが、現金及び預金が941百万円、原材料及び貯蔵品が222百万円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度より224百万円減少し、5,647百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が186百万円、無形固定資産が22百万円、投資その他の資産が15百万円減少したことによります。

この結果、当連結会計年度末の総資産は、789百万円減少し、13,914百万円となりました。

#### ② 負債の部

流動負債は、前連結会計年度より208百万円増加し、5,234百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が695百万円増加し、未払金が378百万円、未払法人税等が45百万円及び未払消費税等が52百万円減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度より717百万円減少し、2,862百万円となりました。主な要因は長期借入金が725百万円減少しましたが、退職給付に係る負債が19百万円増加したことによります。

この結果、当連結会計年度末の負債合計は前連結会計年度より509百万円減少し、8,096百万円となりました。

#### ③ 純資産の部

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度より280百万円減少し、5,817百万円となりました。この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は41.8%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

#### ① キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より941百万円減少し、3,856百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は437百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失100百万円、減価償却費415百万円、売上債権の増加411百万円、棚卸資産の減少124百万円、仕入債務の増加695百万円によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は543百万円となりました。これは主に、投資計画に基づいた有形固定資産の取得による支出488百万円によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は835百万円となりました。これは主に、配当金の支払106百万円及び長期借入金の返済による支出725百万円によるものであります。

#### ② キャッシュ・フロー指標のトレンド

主要項目	当連結会計年度 (2022年12月31日)
自己資本比率 (%)	41.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	88.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	7.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	16.3

- ・自己資本比率 : 自己資本/総資産
- ・時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産  
株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)によって算出しております。
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー  
有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い  
利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

次期の当社グループを取り巻く経営環境につきましては、コーヒー相場および為替の変動、LNGを含めたエネルギーコストの上昇に加え、人件費や物流コストも増加することが予想されます。

上記に伴い、次期の業績予想につきましては、適正かつ合理的な算定が困難であることから、2023年12月期の業績予想を未定とさせていただきます。

今後は、動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当連結会計年度 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,798,022	3,856,882
受取手形	3,862	4,338
売掛金	2,828,440	3,239,890
商品及び製品	401,318	272,470
仕掛品	12,425	31,182
原材料及び貯蔵品	703,529	481,062
その他	85,187	381,899
貸倒引当金	△478	△327
流動資産合計	8,832,308	8,267,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,040,349	4,049,269
減価償却累計額	△2,343,854	△2,443,086
減損損失累計額	△10,935	△10,935
建物及び構築物(純額)	1,685,559	1,595,247
機械装置及び運搬具	5,217,101	5,357,446
減価償却累計額	△3,231,551	△3,471,437
減損損失累計額	△246	△246
機械装置及び運搬具(純額)	1,985,303	1,885,762
土地	1,639,318	1,639,318
リース資産	12,741	12,741
減価償却累計額	△6,583	△6,583
減損損失累計額	△6,158	△6,158
リース資産(純額)	0	0
建設仮勘定	125,143	125,143
その他	416,156	399,759
減価償却累計額	△328,220	△312,803
減損損失累計額	△51,168	△47,101
その他(純額)	36,766	39,853
有形固定資産合計	5,472,091	5,285,326
無形固定資産		
ソフトウェア	69,490	46,228
その他	—	823
無形固定資産合計	69,490	47,051
投資その他の資産		
投資有価証券	78,539	82,415
繰延税金資産	123,219	41,438
その他	130,182	192,328
貸倒引当金	△1,435	△1,435
投資その他の資産合計	330,505	314,746
固定資産合計	5,872,087	5,647,124
資産合計	14,704,396	13,914,523

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当連結会計年度 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,244,560	3,940,041
短期借入金	725,000	725,000
未払金	762,679	383,856
未払法人税等	74,632	28,839
未払消費税等	52,704	—
賞与引当金	34,889	30,745
資産除去債務	18,987	16,578
その他	112,202	109,303
流動負債合計	5,025,656	5,234,364
固定負債		
長期借入金	3,281,250	2,556,250
役員退職慰労引当金	8,772	10,311
退職給付に係る負債	237,081	256,171
資産除去債務	11,330	—
その他	41,698	39,466
固定負債合計	3,580,131	2,862,199
負債合計	8,605,788	8,096,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,509,743	2,514,211
資本剰余金	3,694,280	3,689,954
利益剰余金	404,648	105,555
自己株式	△500,421	△491,741
株主資本合計	6,108,250	5,817,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,641	△20
その他の包括利益累計額合計	△9,641	△20
純資産合計	6,098,608	5,817,959
負債純資産合計	14,704,396	13,914,523

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
売上高	15,218,566	10,713,988
売上原価	12,821,974	8,505,977
売上総利益	2,396,591	2,208,010
販売費及び一般管理費	2,382,660	2,274,600
営業利益又は営業損失(△)	13,930	△66,589
営業外収益		
受取利息	262	855
受取配当金	547	1,445
受取補償金	—	12,517
助成金収入	32,019	971
その他	24,940	11,746
営業外収益合計	57,769	27,535
営業外費用		
支払利息	30,259	26,085
持分法による投資損失	4,339	—
控除対象外消費税等	—	9,039
その他	13,332	10,273
営業外費用合計	47,931	45,397
経常利益又は経常損失(△)	23,769	△84,451
特別利益		
固定資産売却益	386,862	—
関係会社株式売却益	—	7,390
特別利益合計	386,862	7,390
特別損失		
固定資産除却損	188,693	23,106
固定資産売却損	76,305	—
特別退職金	78,684	—
特別損失合計	343,683	23,106
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	66,948	△100,168
法人税、住民税及び事業税	35,617	9,279
法人税等調整額	△263,122	81,297
法人税等合計	△227,504	90,577
当期純利益又は当期純損失(△)	294,453	△190,745
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	294,453	△190,745



## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	294,453	△190,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△703	9,620
その他の包括利益合計	△703	9,620
包括利益	293,749	△181,124
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	293,749	△181,124

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,008,156	1,302,056	110,195	△510,926	5,909,481
当期変動額					
新株の発行	5,665	5,665			11,330
剰余金の配当		△106,770			△106,770
親会社株主に帰属する 当期純利益			294,453		294,453
自己株式の取得				△243	△243
自己株式の消却		△10,748		10,748	—
減資	△2,504,078	2,504,078			—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△2,498,413	2,392,224	294,453	10,505	198,769
当期末残高	2,509,743	3,694,280	404,648	△500,421	6,108,250

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	△8,938	△8,938	5,900,542
当期変動額			
新株の発行			11,330
剰余金の配当			△106,770
親会社株主に帰属する 当期純利益			294,453
自己株式の取得			△243
自己株式の消却			—
減資			—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△703	△703	△703
当期変動額合計	△703	△703	198,065
当期末残高	△9,641	△9,641	6,098,608

当連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,509,743	3,694,280	404,648	△500,421	6,108,250
会計方針の変更による 累積的影響額			△1,490		△1,490
会計方針の変更を反映し た当期首残高	2,509,743	3,694,280	403,157	△500,421	6,106,759
当期変動額					
新株の発行	4,468	4,468			8,937
剰余金の配当			△106,856		△106,856
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△190,745		△190,745
自己株式の取得				△114	△114
自己株式の消却		△8,794		8,794	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	4,468	△4,325	△297,602	8,679	△288,779
当期末残高	2,514,211	3,689,954	105,555	△491,741	5,817,980

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	△9,641	△9,641	6,098,608
会計方針の変更による 累積的影響額			△1,490
会計方針の変更を反映し た当期首残高	△9,641	△9,641	6,097,117
当期変動額			
新株の発行			8,937
剰余金の配当			△106,856
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△190,745
自己株式の取得			△114
自己株式の消却			—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	9,620	9,620	9,620
当期変動額合計	9,620	9,620	△279,158
当期末残高	△20	△20	5,817,959

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	66,948	△100,168
減価償却費	287,228	415,384
貸倒引当金の増減額(△は減少)	83	△151
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,648	△4,143
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	1,538
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△53,905	19,090
持分法による投資損益(△は益)	4,339	—
受取利息及び受取配当金	△809	△2,300
支払利息	30,259	26,085
有形固定資産売却損益(△は益)	△310,557	—
有形固定資産除却損	183,908	9,126
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△7,390
特別退職金	78,684	—
売上債権の増減額(△は増加)	△341,410	△411,925
棚卸資産の増減額(△は増加)	178,682	124,732
仕入債務の増減額(△は減少)	40,991	695,481
その他	293,917	△242,424
小計	463,008	522,935
利息及び配当金の受取額	811	2,295
利息の支払額	△30,161	△26,761
法人税等の還付額	41,889	584
法人税等の支払額	△8,807	△61,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	466,740	437,138
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,189,890	△488,846
有形固定資産の売却による収入	1,800,000	—
無形固定資産の取得による支出	△10,797	△10,848
投資有価証券の取得による支出	△1,256	△1,307
投資有価証券の売却による収入	1,490	7,390
貸付けによる支出	—	△1,400
貸付金の回収による収入	333	472
その他	△4,521	△48,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	595,357	△543,200
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△3,466	△3,106
長期借入金の返済による支出	△381,250	△725,000
自己株式の取得による支出	△243	△114
配当金の支払額	△106,770	△106,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	△491,730	△835,077
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	570,367	△941,139
現金及び現金同等物の期首残高	4,227,654	4,798,022
現金及び現金同等物の期末残高	4,798,022	3,856,882

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下の通りであります。

(1) 製品及び商品の売上高は、従来、出荷時点で収益を認識しておりましたが、着荷時に収益を認識する方法に変更しております。

(2) 当社は得意先から支給部材を仕入、加工を行った上で加工費等を支給部材価格に上乗せして加工製品を当該得意先に対して販売する取引を行っております。従来は、連結損益計算書上、売上高と売上原価を総額表示しておりましたが、売上高と売上原価を純額表示するとともに、当該支給部材を棚卸資産として認識せず、有償支給取引に係る資産を認識しております。

(3) リベート等の顧客に支払われる対価は、従来、販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は5,414,402千円減少、売上原価は5,356,919千円減少、販売費及び一般管理費は59,206千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ1,723千円増加しております。

なお、連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の期首残高に与える影響は軽微であります。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、コーヒー関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額は、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
(株) MCアグリアライアンス	3,106,014	コーヒー関連事業
ユーシーシー上島珈琲(株)	1,757,058	コーヒー関連事業

当連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額は、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
森永乳業(株)	1,351,493	コーヒー関連事業
(株) MCアグリアライアンス	1,224,608	コーヒー関連事業
ユーシーシー上島珈琲(株)	1,159,536	コーヒー関連事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
1株当たり純資産額	456.58円	435.28円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	22.05円	△14.27円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	294,453	△190,745
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	294,453	△190,745
普通株式の期中平均株式数(株)	13,353,778	13,363,228

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。